

落語 っておもしろい!

Vol. 161

6/18 (火) 18:45~

出演: 林家つる子、三遊亭わん丈 (落語)

【林家つる子】古典落語の習得から人情、新作落語にも取り組み、新しい演壇にも意欲的で、古典落語「芝浜」や「子連れ」【三遊亭わん丈】の登場人物であるおきかみややんや花魁を主人公とし、その視点から古典落語を描く落語は、各メディアに取り上げられた。
【経歴・受賞】
2010年9月代林亭正龍に弟子入り
2015年11月2日昇進
2019年9月第11回前橋若手落語家選手権優勝
2021年9月第20回さかみはら若手落語家選手権優勝
2022年9月第33回北とび若手落語家選抜会奨励賞
2024年3月21日落語界女性初の振舞尺打昇進
【メディア出演】
BSフジ「日本一ふついで美味しい! 雑貨夜宴」TBSラジオ「ハンサー向井のふらっと」火曜リポーター
TBSラジオ「東京042〜恋のまわりが狂った〜」由
公式Webサイト https://tsuruko.jp
【三遊亭 わん丈】年間1,000席以上の高座をつとめ古典と自作の両方で多くの賞を獲得するなど20日昇進
賞後から満身を費す。埋められた古典や上方落語の再興、「牡丹灯籠」道し公彦、三福菊など好評を
博している。寄席客各々を合わせた座せりに定評があり、落語ファンのみならず観客のみならず古典落語の
高座を追求し続けている。
2024年3月より落語協会12年ぶり振舞尺での尺打昇進。
【経歴】
2011年4月 三遊亭 円丈に入門 (没後 天竺山門下)
2012年4月 前座となる 前座名「わん丈」
2016年5月 2日昇進
2024年3月 昇進
受賞
2017年3月 第4回日夜も落語つけ 優勝 (「おもしろい」)
2017年10月 NHKラジオ「真夏の落語 2017」優勝 (「寄合酒」)
2018年10月 落語界若手ヒーロー賞 (「おもしろい」)
2019年12月 Zabu-1グランプリ優勝 (「おもしろい」)
2020年9月 第31回北とび若手落語家選抜会 大賞「新がまの油」(「わん丈」)
2022年11月 大津市文化奨励賞
2023年2月 第1回公益財団法人若手落語家選手権大会 大賞「お見立て」
2023年4月 令和4年度刊の落語大賞「花魁の野望」(「わん丈」)

ジャグリング っておもしろい!

Vol. 162

7/18 (木) 19 (金) 各18:45~

出演: 山村佑理 (ジャグリング)、他

ジャグラー、ダンサー、振付家。1992年東京出身。10歳よりジャグリングを独学。「ジャグリング=物と体の関係性の踊り」と仮定して独自の上演を追求する。15歳でジャグリング全国大会JJF決勝出場、16歳でジャグリング世界大会IJA 4位入賞。同年よりソロ及び、ながめくらしつ、Daggle Crew等のグループとして国内や海外で公演活動を始める。2009-2011年活動の独自性が評価され「世界のジャグラーTop 40」賞に3年連続入選、最大13位に入選する。23歳で渡仏、フランスの公立サーカス学校 Le LIDO - Centre des Arts du Cirque を日本人として初めて卒業。帰国後は関東と東北を中心に全国で活動。TOKYO2020オリンピック開会式やカンパニーテラシネラ「はだかの王様」他様々な公演に出演。2020年より「BAZAR」、2021年より「APINUN」など小さいサーカスを主催し、劇場・公共空間・美術館・ギャラリーなど様々な空間でジャグリングを発表。ダンサー・役者・音楽家・華道家など様々なアーティストと共同し「新しいサーカス」の制作に取り組んでいる。yuriyamamura.com
※vol.162は会員申し込み時に鑑賞公演日を1公演お選びいただけます。ご了承ください。

漫談 っておもしろい!

Vol. 163

10/30 (水) 18:45~

出演: マグナム小林、ねづっち (漫談)

【マグナム小林】
1971年(昭和46年)千葉県千葉市生まれ
1990年千葉市立千葉高校卒業 / 1994年早稲田大学社会学部卒業
1994年8月 落語家立川談志門下入門 芸名:立川小談林
2000年8月 上納金滞納の為、立川談志門下を破門
以降、バイオリンエンターテイナー・マグナム小林となる。
世界で数人しかないタフダンスを踊りながらのバイオリン演奏をはじめ、バイオリンによる擬音、声真似、昔懐かしい大正演歌、謎かけなど多様な芸でお客様の御機嫌を伺う。
現在、落語芸術協会(会長・春風亭昇太)の協会員として、新宿末広亭、浅草演芸ホールなどの都内寄席に年間200日以上出演。
趣味は野球、競馬、プロレス、相撲観戦。鉄道ファン。
【ねづっち】
1997年 芸人デビュー
2010年 即興なぞかけて注目を集め「とどのいたました!」は「新語・流行語大賞」のTOP10入りを果たす。
2011年 ソロライブ「ねづっちのイロイロしてみる60分」を毎月開催中。
2024年 令和5年度(第74回)芸術選奨 文部科学大臣新人賞 受賞
特技:なぞかけ、乗道(三段)
趣味:大相撲観戦、プロ野球観戦(巨人ファン)
ホームページ https://ph-aun.net
YouTube https://www.youtube.com/c/nezucchi

特別ライブ テリー・ライリー & SARA

Vol. 164

11/14 (木) 18:45~

出演: テリー・ライリー、SARA (キーボード、他)

【テリー・ライリー / Terry Riley】1934年カリフォルニア生。Lin C(1964)によってミニマルミュージックの父として世界的に認知されているが、彼の本質は「サイケデリック」である。「You're No Good」(1967)に聴かれる大胆なカットアップは、今日のループ/サンプリング的発想の原点。「A Rainbow in Curved Air」(1969)はザフーの代表曲「Baba O'Riley」をインスパイアするなどした大名盤。'80年代、日の入りから日の出まで開催した「All-Night Concert」はレヴ・パーティーの原型と言える。また、北インド音楽の巨匠ハンディット・フラン・コートの弟子として'70年代初頭から20余年に渡り世界中に同行した。横尾忠則、久石譲、ジム・ジャム・ウッシー等、大ファンを公言している表現者は数多い。2020年より山梨県在住。
【サ / SARA】1989年5月19日生。山梨県北杜市出身。
2017年のテリー・ライリー来日公演のスタッフだったことをきっかけに知遇を得る。
2019年7月よりテリー・ライリーの正式な門下としてインド古典音楽(ラーガ)を師事。同年の欧州ツアーにも随行。約600年の歴史があるカナ流派日本人唯一の継承者となる。
2020年2月に始まったCovid-19の世界的なパンデミックをきっかけに日本に移住したテリー・ライリー氏との活動が増えるにつれ、氏のキーボード奏法や作曲方法等、全ての継承者且コラボレーターとして活動が始まる。
2022年5月よりテリー・ライリー氏と共にラーガ教室 KIRANA EAST を開始。鎌倉を拠点にほぼ毎月開催。

相撲甚句 っておもしろい!

Vol. 165

12/4 (水) 各18:45~

出演: 大至 (相撲甚句、歌)

1984年3月 中学卒業前に押尾川部屋に入門
幕下時代に低迷も、幼少期に母から教えられた相撲甚句を相撲協会の祭事や地方巡業で歌い、他部屋の力士と稽古を積んだ。初土俵から10年で新十両昇進。翌94年に新入幕。若貴時代全盛期、貴乃花、若乃花、曙、武蔵丸ら名力士と対戦。最高位は前頭三枚目。2002年3月春場所にて18年間勤めた現役を引退、準年寄となり後進の指導に当たるも、幼少からの歌への憧れを諦めきれず歌手へと転身。以降相撲甚句、歌手、舞台俳優、更にはミュージカルなどでも活動。
2021年12月キングレコードより全曲新録音「大至の相撲甚句」をリリース。2023年4月 東京オペラシティ・リサイタルホールにて初となるリサイタルを行い、満場の聴衆を深い感動に誘う大成功を収めた。2023年11月には、出身地茨城県日上市での凱旋公演を行い、その際にオリジナル新曲として「大至のドスコイ音頭」[「今ある場所で咲く花へ」]を発表。相撲甚句の第一人者として評価を得ると同時に、ジャンルを超えた様々な歌で多くの人を魅了している。

指揮者 っておもしろい!

Vol. 166

2025年2/17 (月) 18:45~

出演: 広上淳一、沼尻竜典 (指揮、ピアノ)

【広上淳一】 Junichi Hirokami
26歳でコンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、欧米各国のオーケストラに客演、数々のポストも歴任。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。東京音楽大学指揮科教授。
【沼尻竜典】 Ruysuke Numajiri
神奈川フィル音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィル音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。プザンソン国際指揮者コンクール優勝以来、世界各国のオーケストラ、歌劇場に客演を重ね、数々の要職を歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務めた。びわ湖ホールではワーグナー作曲の主要10作品を全て指揮。17年紫綬褒章受章。

入場料: vol.161~163、vol.165、166: 3,000円 vol.164 (特別ライブ): 4,000円 (販売開始日等の詳細は、ホームページ等でお知らせします)

お得な発見ライブ会員を募集しています!

〈会員年会費〉10,000円

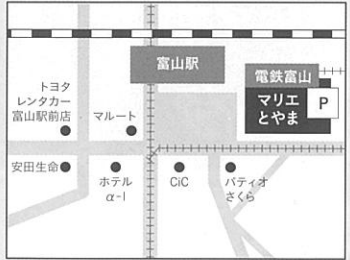
〈会員になると〉

- ① 年会費1万円でプログラムVol.161~166の全6公演(1万9千9円分)が鑑賞できます。(9千円もお得!!)
- ② 富山県民小劇場、富山県民会館、富山県教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホールが主催する指定した公演等のチケットが会員割引料金で購入できます。

〈申込方法〉

お電話、又はFAX、Eメールよりお申し込み下さい。チケット販売サイト「アーツナビ」のホームページからもお申込み可能です。※アーツナビの利用には、インターネット環境およびアーツナビ会員登録(無料)が必要です。

〈会費納入方法〉
富山県民小劇場(オルビス)窓口での現金支払い
又は下記口座へ銀行振込にてお支払い下さい。
口座名義/公益財団法人富山県文化振興財団
銀行名/北陸銀行県庁内支店
口座番号/(普通)4007505
※振込手数料はお客様負担をお願いします。



■アクセス
富山駅から徒歩(約5分)、「バス」富山地下鉄バス 富山駅前停留所、有料駐車場あり
■タイムズマリエとやま駐車場
[駐車料金] 30分毎に200円(2023年1月現在) 予告なく料金改定される場合がございます。ご了承ください。

発見ライブ入会申込書

申込日 年 月 日

FAX 076-445-4532

フリガナ	性別	生年月日
氏名	男・女・回答しない ※記入は任意です。	西暦 年 月 日
住所(〒)	電話番号 () -	
申込口数	新規・継続	お問合せ・お申し込み: TEL 076-445-4531 E-mail orbis@kenminkaikan.com 〒930-0003 富山市桜町1-1-61 マリエとやま 7F 富山県民小劇場(オルビス)